

## 市政改革を進めた20年間のあゆみ

皆様には日頃から格別のご厚情を賜り心から御礼申し上げます。  
平成15年に神戸市議会議員選挙に初挑戦し、『市政改革に挑む36才!』『市政改革は自民党改革から』を皆様に訴えての初当選でした。市議としての仕事をスタートするにあたりこの2つの言葉を誠実に実行する事こそ市議としての私の役割と考え、20年に亘って誠心誠意取り組んで参りました。市議1期目は先ず同じ若手議員をまとめ旧態依然とした運営がなされていた自民党会派改革の準備を行いました。2期目には想いを同じくする中堅、若手議員と力を合わせ世代交代を進め、会派運営の主導権を獲得。3期目には数十年前から分裂をしておりました複数の自民党系会派の合併を果たし、自民党会派の分裂を解消。4期目には市政に大きな影響力を持った自民党会派主導で、一部の労働貴族が悪影響を与えていた市役所の構造改革をはじめ行財政改革を久元市長とともに強力に推し進めました。

そして5期目の今期は市会議長として議会改革を進める為、議員定数削減案を先ず自民党会派はじめ与党会派に提案。与党3会派主導で議員定数削減(4議席減)が実現致しました。これらは想いを同じくする自民党議員はじめ他党の議員と力を合わせて進めた事が市政改革の成果につながったのだと思っております。およそこのように改革を進めて参りましたが、私にご支援を頂いております皆様のお陰を持ちまして、この20年間で市議会の主だった役職は一通り経験し、市政への影響力は経験と共に強まっております。いよいよ5期目の任期も僅かとなり4月には改選を迎えます。

私は残された任期を、地域の諸問題の解決はもちろんのこと、人口減少社会においても『逞しく力強い神戸』実現のため、その役割を果たして参ります。引き続きのご理解を心よりお願い申し上げます。

～心から感謝を込めて～



### 坊 やすなが プロフィール【略歴】

- 昭和42年 北区八多町生まれ 八多保育園卒園後 地元幼、小、中、県立神戸北高校を卒業
- 平成元年 佛教大学文学部卒業
- 同年 衆議院議員 砂田重民 秘書
- 平成11年 自民党兵庫県連 青年部長
- 平成12年 衆議院議員 公設第一秘書
- 平成15年 神戸市議会議員に初当選(現5期)
- 平成25年 自民党政令指定都市青年議員連盟 会長
- 平成28年 第110代 神戸市会 副議長
- 令和元年 自由民主党神戸市議会議員団 団長
- 令和3年 第103代 神戸市会 議長
- 現在 自由民主党神戸支部連合会 選挙対策委員長  
神戸市会保育を考える会 会長  
観光交流都市推進神戸市議会議員連盟 会長  
海洋産業都市推進神戸市議会議員連盟 会長  
日米友好神戸市議会議員連盟 会長 他

やすなが

神戸市議会議員 坊 恭寿

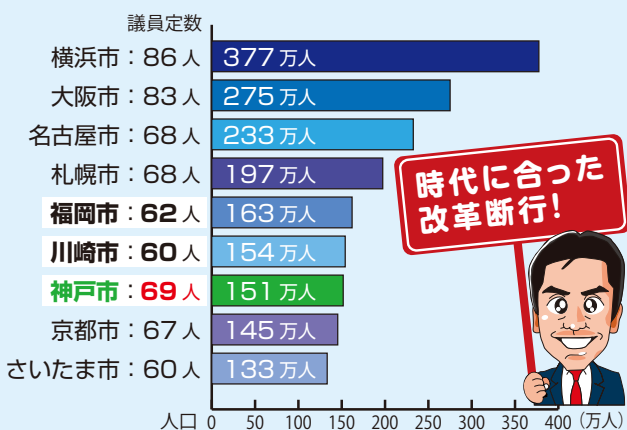
## 市議20年間の実績

自ら提案、質疑し実現しました  
主な施策について掲載いたします。

### 議員定数4削減! 将来的に計9議席削減!

神戸市議会議員定数の削減については、現在の69議席から65議席へ4議席減に、更に次の期には5議席減を前提に60議席とする議長提案を行い、議長退任間際の本会議で今期中で4議席減の条例改正案を可決致しました。当初は今期中に9議席減を目指しましたが、多くの議員から賛同を得るため2度に分けて定数削減を図る事となりました。

#### 【政令指定都市 人口と議員定数のグラフ】



## 神戸市会最大9人減検討

### 議員定数、複数会派が提案へ

神戸市会(定数69)が、議員定数の削減について検討を始めることが16日、関係者への取材で分かった。18日に開かれる議会制度改革の検討会で、複数の会派が一挙に4〜9人減らす案を提案するとみられる。削減が決まれば2006年以来で、9人減った場合、報酬など年間約2億円の経費削減が見込まれるという。

市会の定数は、1947年の地方自治法施行以来、長く72人が続いたが、06年に当時の与党会派などが「他都市の状況を考えれば、定数減が必要」と主張し、3減の69人とする議員提出議案が可決された。その後も人口減少に伴い、見直しの議論があった。

が総定数を維持した上で、市内各選挙区の定数を人口比によって増減させるだけにとどめていた。しかし、他都市で議員定数の削減が進み、市会でも見直しが必要だと判断。神戸のような都市部でも、議員のなり手不足が深刻になりつつある現状も影響し、たとえられる。

そこで、最高規範とされる「議会基本条例」施行から10年に合わせ、検証する検討会設置を決定。議長と副議長、所属議員5人以上の「交渉会派」6会派の団長と幹事長で構成し、18日の第1回会合では各会派から議員定数について意見を聞く予定という。

関係者によると、定数が最大で9人減った場合、報酬などで年間約2億円の経費削減が見込まれるという。定数削減に伴い、民意が届きにくくなるとして反対する会派もありそうだが、

政令指定都市の議員定数を見ると、神戸と人口規模に近い京都市が67人▽川崎市が60人▽福岡市が62人。神戸より人口が約80万人多い名古屋は68人で、最も人口が多い横浜市は86人という。過去に大幅削減を行ったのは、浜松市が10年に8人減(54人↓46人)、名古屋が16年に7人減(75人↓68人)。神戸が最大の削減幅となる可能性もある。

(三島大一郎)



# 「神戸っ子チャレンジ10」実施により学力が向上しました！

全国学力・学習状況調査で全国トップを占める秋田県では、「学びの十か条」という子どもが学力向上のために取り組むべき項目を分かりやすい言葉で表現したものがああります。

1日に何時間、何を勉強しなさいといった、ただ勉強さえできればいいという部分的なものではありません。人間形成の基本を、学校・家庭・地域、そして社会全体を巻き込んで、子どもたちにきっちりと身につけさせていくことで学力の向上を図るものです。

そして、この提案に数年間教育委員会と議論を行って2012年に始まり「神戸っ子チャレンジ10」ですが、子供たちの学力向上にも寄与する事が明確になり嬉しく思っております。更に教育再生のため全力で活動して参ります。



## 神戸っ子 チャレンジ 10

小学校4～6年生 (2022年度版)

### 神戸っ子 やる気のパワーチャレンジ 10

- ① 早ね・早おき・朝ごはん 元気・笑顔のひみつだよ
- ② にっこりあいさつ うれしいな 進んでやるよお手伝い
- ③ 友だちと しっかり勉強 学び合い
- ④ 毎日の読書で 夢を広げます
- ⑤ 助け合い 支え合い 力を合わせて一つの輪
- ⑥ 予習・復習・やり直し 努力と根気の見せどころ
- ⑦ スポーツで流した汗は 金メダル
- ⑧ 家じゅうにいっぱいひびく 家族の声
- ⑨ もったいない大事な一日 ゲームだけ？
- ⑩ ルールとは楽しく生きる 道しるべ

# 北神急行線と市営地下鉄の一体的運行実現により運賃低減へ

北区において最大の課題である交通問題の解決には神戸電鉄と北神急行の料金の低減が欠かせません。このため神戸電鉄には神鉄シーパスイオンに続き、北神急行線も市民に利用しやすいよう「市営化」が実現し「谷上～三宮」550円→280円に運賃低減出来ました。

この市営化は市長選時に自由民主党神戸市議員団からの要望として提案し久元市長の英断によって実現の運びとなりました。今後とも北区の交通問題の利便性確保に向け誠実に取り組んで参ります。



# 地域コミュニティバス・タクシーの運行支援へ

超高齢化により、幹線道路のバス停まで距離があり歩くのが大変など、既存の路線バスでは対応できないきめ細やかなニーズへの対応や、地域の実情に応じた生活の足を担う公共交通として、地域と神戸市が協力しながら運行する地域コミュニティの必要性を要望して参りました。それが実現し八多淡河バス等、さまざまな地域で運行支援がされております。



# 長尾小学校区から大沢小学校 中学校への通学が実現！

北神地域の中でも、大沢町では人口の減少が進み、小中学校の児童生徒が少なくなっています。一方、長尾小学校では児童数は今後も増えていく見込みで、大沢町・上津台の両地域から要望あり、長尾小学校区(赤松台、上津台、長尾町)在住の児童生徒については、希望に応じて平成29年度より大沢小学校・大沢中学校へ就学できるようになり、大沢児童館では「放課後児童クラブ」(学童保育)が開設され、延長利用希望を出せば、午後7時まで利用可能になりました。これがきっかけで、他校でも試みが行われています。



**公共交通の社会実験**

**地域の足より便利に**

**北 区** 農村地帯が広がり、鉄道の駅がなく、高齢化が進む北區大沢町と八多町。病院や買い物、公共施設に行くための移動手段の確保がかねてからの課題だ。

人口約3千人で、南北に細長い八多町では、神姫バスと協力し、昨年10～12月に実施した前回同様、小型バス(定員34人)を利用した社会実験を実施。前は町南部と神鉄商場間は町南部と神鉄商場を結ぶ1系統のみだった。今回は、児童の登校や神鉄道場南口の駅との接続など、要望を踏まえて南北の路線を増設した。

西系統とも、三宮行き路線バスと接続する停留所「吉尾インター」を経由させた。八多町自治協議会の岡田孝久会長(72)は、「免許を返納した80代以上の住民もいる。高齢化の将来を見据えるところ、こうした住民の足は不可欠だ」としている。

平成28年8月30日 神戸新聞

# 八多小・中学校は、市内で2校目の義務教育学校に移行！実現！



八多小学校・中学校は、児童生徒数の減少が課題になっておりましたが、この度同一敷地内に小・中学校の校舎が立地している特徴を生かし、義務教育9年間を効果的な教育課程を組むことができる「神戸市立義務教育学校 八多学園」(仮称)となります。

1年生から外国語活動の実施やICTを活用した海外との異文化理解力やコミュニケーション力を育んだり、農業体験、萱刈など、八多の豊かな自然や歴史を題材にした学びの実践など、市内の農村・里山エリアで初となる義務教育学校として、特色、魅力のある学校となります。

# 長尾学童保育コーナーを菅生公園に実現！(使用時間外は公民館的な機能も)



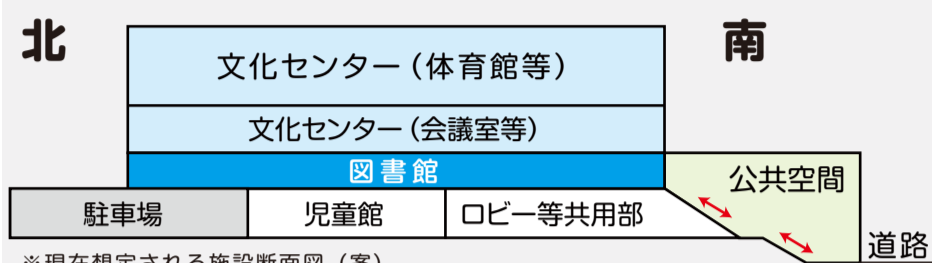
長尾小学校の児童数の増加に伴い、小学校内での学童保育コーナーを高学年を含む学童保育を希望する全ての児童に対応できるよう、平成30年から長尾小学校に隣接している菅生公園内に学童保育施設を整備し移動しました。今後のまちづくりの視点から、自治会館としての機能も要望し実現しました。



## 北区文化センター・北図書館を旧北区役所跡地に移転新築へ

北区文化センター、北図書館の老朽化、バリアフリーの問題も踏まえ、隣にある旧北区役所跡地に北区文化センター、北図書館の機能移転を提案。北区役所跡を新築複合施設として再整備し、北区文化センター、北図書館が移転することになりました。

実現!2025年  
オープン予定



※現在想定される施設断面図 (案)



参考：新中央区総合庁舎  
木材により温かみのある空間となるように計画

パブリックコメントおよび利用者や区民へのアンケート結果を踏まえ、新文化センター・図書館の整備を進めています。

## 北神区役所 全国初 1区に複数区役所が実現!

初当選以来 北神出張所の機能充実に要望し続け、副議長就任後(H28)、池田りんたろう議長と共に久元市長に対し強く要請を行い、市長の英断により「北神支所」へ、そして平成31年4月より全国初の一つの区に複数の区役所、「北神区役所」が誕生しました。他の区役所と同様のサービスが受られます。

北神の住民にとって  
利便性が向上!



北区役所と北神支所は電車で約30分かかるほど離れており、北神地域の住民が日常的に北区役所を利用することは難しい状況にあることから、「北神区役所」の設置が実現しました。



## 全国初 民設民営の道の駅誕生!

平成29年3月に道の駅 神戸フルーツ・フラワーパーク大沢(おおぞう)がオープン致しました。「道の駅」については、9年越しの要望で実現致しました。日本で初めて地域の商店や企業が出資し、まちづくり会社を設立 その会社が「国土交通省による“重点道の駅”」競争の中で選ばれ、地域の方が地域の財産として運営していく道の駅です。当初から考えてきた全国初となる「民設民営 道の駅」を実現することができました。地域力の強化こそが神戸の未来を創ります。

実現!



## 北区に休日急病診療所が開院実現!



神戸市医師会 北部休日急病診療所(内科)

区民の安全安心を向上  
させる事ができました!



北区医療関係団体から神戸市北部での医療拠点の設置要望を受け、神戸市当局と折衝して参りました。

その結果、箕谷にて神戸市医師会 北部休日急病診療所(箕谷会館1階)が開院する事になりました。初期救急医療を担う急病診療所(内科)として、日曜、祝日、年末年始に軽症の救急患者を受け入れます。

## 光回線 未整備エリアが整備完了!

初当選時より光回線未整備地区の皆様から強い要望があり、まず2年前倒しをしてLTE回線を整備することができました。そして、この度地域の皆様からの切実な要請を受け、当局との議論の結果、久元市長の英断で光回線の整備(市負担)が完了しサービスが開始されております。

地域からの切実な  
要請を実現!



## 地域活性化担当係長を配置

北区・西区の連絡所に、地域に飛び込んで、地域の課題解決や魅力発信するような係長級職員の配置を提案、要望をして参りました。令和2年4月に13の連絡所を出張所に格上げを行い、北区では4つの出張所に地域活性化担当係長が配置されました。

実現!



淡河出張所では、淡河町ゾーンバスを運営する団体の一般社団法人化の支援や淡河町商工会の設立、大沢出張所では空き家バンク登録受付を開始し、空き家相談窓口の体制を強化し、令和3年度には6世帯が移住しました。

地域活性化担当係長 配置 出張所	
令和元年度	淡河出張所(北神区役所)
令和2年度	山田出張所(北区役所) 大沢出張所(北神区役所)
令和4年度	八多出張所(北神区役所)
令和5年度(予定)	道場出張所(北神区役所)

## 鈴蘭台駅南側道路 緊急車通行可能に!



緊急性を要するため  
早期実現しました。



神鉄鈴蘭台駅で、一番の懸案であった緊急自動車(小型消防ポンプ車)が通れない駅南側の駅下の道路(高さ制限2.5メートル)を緊急時に通行出来るように、駅前開発より先行して整備を行い、2.7メートルの確保を行いました。



# 規制から賑わいづくり！ 都市計画の画期的な政策転換へ！

人口減少社会の進展により、駅前の高度経済成長期頃に建築され林立した小規模な商業・事務所ビルなどが、老朽化、陳腐化などにより、再建築しても容積率の関係で、延べ床面積を拡大する事が出来ない事から規制緩和への要望を行ってきました。

この度、ウィズコロナによる生活スタイルの変化と久元市長の英断により、規制から賑わいづくりへの用途地域緩和となりました。

駅周辺や幹線道路沿道などは、生活利便施設や働く場の誘導を図り、また郊外住宅地は平屋や二世帯住宅など間取りにゆとりのある多様な建て替え、小規模な店舗などの立地誘導を図り、産業エリアでは物流施設などの大型化に対応した機能更新などとなりました。

西鈴蘭台駅南側、北鈴蘭台駅、山の街駅、大池駅周辺の一部では、用途地域の見直しが始まります。

**実現!**



# 分散開催型の花火大会を提案!

年1回のみなと神戸海上花火大会は、経費の多くが安全対策であり、また地元企業への経済波及効果は薄いのが難点でした。神戸の観光振興の視点から、周辺の商業施設への集客や宿泊につながる取組として、年間を通した花火イベントを提案し、検証期間として2年連続で開催されることになりました。

**実現!**



## 神戸の花火大会 分散開催に 昨年好評、今年も10月に複数回

新型コロナウイルス禍に伴い、3年連続で中止となった神戸港の夏の風物詩「みなとこうべ海上花火大会」について神戸市は、複数日に分散して実施する花火イベントに切り替える方針を固めた。同市などで構成する実行委員会が4月以降に正式発表する。昨年は10月に5日間、短時間で開催して好評だったという、同様の形式で続ける。

(1面参照)



「安全にゆったり楽しんで」されたことから「30万人超を受け入れられなくなった」という。また「コロナ禍以前から雑踏事故の懸念や熱中症対策など、夏場の1日開催には課題があった」としている。22年は感染拡大防止のため、10月の平日5日間、メリケンパークで約10分ずつ打ち上げる代替イベント「みなとHANAABI」を実施した。来場者アンケートでは「観覧

平日の5日間に分散して実施したイベント「みなとHANAABI」  
2022年10月

(名倉あかり)

神戸新聞 2023年2月11日

# 市内公園にカフェなど設置可能に 用途地域緩和案を公表



神戸市の用途地域は、低層住宅用で小規模店舗、事務所を兼ねた住宅を建てられる「第1種低層住居専用地域」、工場用で住宅や店舗、学校、病院は建てられない「工業専用地域」など、12種類に区分

来月2日まで市 市民の意見募る  
神戸市は、住居、商業・工業用地など、地域ごとに建築物の使い道、規模を制限する「用途地域」について各区の見直し案を公表し、市民らの意見を募っている。にぎわいや憩いの場を創出してまちの利便性、魅力を高める狙いで、市都市計画課の担当者は「まちづくりに直結する土台の部分で、多くの市民に興味を持ってもらえたら」としている。(名倉あかり)

# 用途地域緩和案を公表

神戸市の用途地域は、低層住宅用で小規模店舗、事務所を兼ねた住宅を建てられる「第1種低層住居専用地域」、工場用で住宅や店舗、学校、病院は建てられない「工業専用地域」など、12種類に区分

市は5年に1回、用途地域を見直している。今回は、少子高齢化の加速や新型コロナウイルス感染症拡大で「職住近接」の需要が高まったことを受け、時代に合ったまちづくりを目指す。対象は市内の約1600区。

市は5年に1回、用途地域を見直している。今回は、少子高齢化の加速や新型コロナウイルス感染症拡大で「職住近接」の需要が高まったことを受け、時代に合ったまちづくりを目指す。対象は市内の約1600区。

用途地域変更の具体例としては、総面積2区に及ぶ約70の公園について、カフェやコンビニなどの利便施設を建てられる「第2種中高層住居専用地域(2中高)」への緩和を提案している。山陽電鉄の東垂水駅や霞ヶ丘駅周辺も2中高とし、事務所などの建設を可能にするという。

市は19日まで個別説明会を開き、10月ごろに見直し案を修正して公表する。2023年度には都市計画決定する予定という。

でも住宅の面積が増えるよう、容積率や建ぺい率の引き上げを検討する。住人の高齢化、コロナ禍に伴う在宅ワークの増加など、暮らしの変化に対応する一戸建て住宅の建て替えを促進する。

神戸新聞 2022年4月13日

# 神戸市シニア利用促進パス「神鉄シーパスワン」を拡充

敬老パスや福祉パスは、市内を走る市バス・民営バス、市営地下鉄、新交通で利用できるものの、神戸電鉄、高速神戸線、私鉄では、多額の設備費が掛かるため利用できませんでした。

神鉄シーパスワンを実現し、更に充実させました。



久元市長へ強い要望を行い、市長の英断により平成27年度から「神鉄シーパスワン」を試験的に導入しました。利用促進や高齢者の外出増加による地域活性化などへの効果を検証することになり、平成27年度「神鉄シーパスワン」の社会実験開始、その後平成28年度「神鉄シーパスワン Plus」は神戸高速鉄道も利用可能になり、令和4年度からは「神鉄シーパスワン北神」の販売が開始しています。



次の政策目標は  
選挙公報に掲載します。

